

歯科診療所における  
禁煙支援体制整備に関する研究報告書

平成18年3月

社団法人広島県歯科医師会

## I 目的

広島県では、喫煙が歯の喪失の主たる原因である歯周疾患を増悪するなど、口腔との関連が大きいことから、歯科からの禁煙支援の体制整備と医師等他職種との連携を図るため、平成 13 年度から禁煙支援に取り組んできた。

そこで、本研究では、平成 14 年度に養成した禁煙支援指導歯科医へのアンケート調査並びに、平成 15 年度に実施した歯科診療所における禁煙支援指導モデル事業の追跡調査を行うことにより、今後の歯科からの禁煙支援のあり方を検討し、歯科からの禁煙支援体制の整備につなげることを目的とした。

## II 実施組織

広島県歯科衛生連絡協議会（広島大学、広島県、広島県教育委員会、広島市、広島県歯科医師会で構成）において実施した。

## III 実施内容

### ①禁煙支援推進協議会の設置

医師会、歯科医師会、薬剤師会、大学、マスコミ、企業、行政等の関係者から構成される「禁煙支援推進協議会」を設置し、本事業の進行管理を行うとともに、事業結果を踏まえた今後の歯科からの禁煙支援体制のあり方等について協議した。

### ②禁煙支援指導歯科医へのアンケート調査

平成 14 年度に養成した禁煙支援指導歯科医を対象として、禁煙支援指導の取組み状況や禁煙支援指導を行う上での問題点等について、質問紙調査を実施した。

### ③禁煙支援指導モデル事業の追跡調査

平成 15 年度に実施した禁煙支援指導モデル事業の対象者について、事業終了後の禁煙の状況等を追跡調査した。

#### ア 対象者

モデル事業の対象者 62 名

#### イ 調査方法

事業協力歯科医療機関において、質問紙調査により実施した。

## IV 禁煙支援指導歯科医へのアンケートの結果

禁煙支援指導歯科医 56 名のうち、50 名から回答を得た(回収率：89.3%)。

### 1 喫煙と口腔の関連や禁煙について患者から相談を受けることがありますか

①よくある	8 (16.0%)
②ときどきある	13 (26.0%)
③あまりない	17 (34.0%)
④ほとんどない	12 (24.0%)

2 問診の中で、患者の喫煙状況や禁煙の意思を把握していますか

①すべての成人患者について問診（票）の項目に加えている	11 (22.0%)
②歯科治療上必要な患者については問診の段階で把握している	9 (18.0%)
③問診項目には入っていないが、随時把握している	19 (38.0%)
④把握していない	10 (20.0%)
⑤無回答	1 (2.0%)

3 喫煙患者に禁煙を勧奨していますか

①すべての喫煙患者に勧奨している	8 (16.0%)
②歯科治療上必要な患者には（本人の意思がなくても）勧奨している	26 (52.0%)
③患者から禁煙について相談等があったときには勧奨している	10 (20.0%)
④積極的に勧奨していない	5 (10.0%)
⑤無回答	1 (2.0%)

4 非喫煙患者（未成年を含む）に防煙（喫煙の開始を防ぐ）の指導をしていますか

①積極的に指導している	6 (12.0%)
②歯科治療上必要な患者には指導している	10 (20.0%)
③指導する機会はあまりない	22 (44.0%)
④指導していない	12 (24.0%)

5 禁煙指導専門医との連携をとっていますか

①患者を紹介するなど連携をとっている	4 (8.0%)
②連携が必要となる機会がない	36 (72.0%)
③連携方法がわからない	10 (20.0%)

①の場合、具体的な連携の内容

- ・紹介する。
- ・専門医を患者に紹介して受診を勧めるが、紹介状を書いたり、直接、専門医とやり取りすることはない。
- ・安佐市民病院へ紹介している。
- ・呼吸器内科への紹介はしている。

6 「禁煙支援指導歯科医」になって、実際に禁煙指導（禁煙に向けての継続的な支援）を行いましたか

①「禁煙支援指導歯科医」になってから、10人以上の患者に対して行った	13 (26.0%)
②5～9人の患者に対して行った	10 (20.0%)
③1～4人の患者に対して行った	12 (24.0%)
④行っていない	15 (30.0%)

7 6で①～③と答えた方にうかがいます。(35名)

(1) 指導した患者は禁煙できましたか

①半数以上は禁煙できた	4 (11.4%)
②半数に満たないが、禁煙できた人がいる	24 (68.6%)
③禁煙できた人はいない	3 (8.6%)
④確認していない	3 (8.6%)
⑤無回答	1 (2.9%)

(2) 指導した患者の反応は、総じていかがでしたか

①とても満足	1 (2.9%)
②満足	20 (57.1%)
③少し満足	11 (31.4%)
④不満 (迷惑)	2 (5.7%)
⑤無回答	1 (2.9%)

(3) 歯科治療やその予後に、禁煙指導の効果が認められた症例はありましたか

①効果が認められた	19 (54.3%)
②効果は認められなかった	4 (11.4%)
③把握していない	10 (28.6%)
④無回答	2 (5.7%)

①の場合、具体的な効果の内容

- ・口臭軽減。
- ・歯周の状態が改善した。
- ・Pがよくなった。
- ・歯肉の色がよくなった。ステインが付かなくなった。
- ・事業所で禁煙を個々に始めた。非喫煙者より報告。
- ・歯周病の状況が大幅に改善された例が1つあった。
- ・歯周病の改善。メラニン色素沈着の減少。
- ・白板症の範囲が減少した。
- ・歯肉が腫れなくなった。
- ・歯周病患者で数名が禁煙されている。
- ・歯肉改善。
- ・歯肉からの出血の減少。口臭の消失等。
- ・歯周治療がなかなか効果が得られなかったのが、禁煙後、治療効果が得られた。
- ・禁煙指導により信頼が得られる。
- ・歯肉の状態がよくなった。
- ・本人の喫煙に対する中止希望が強い場合、特に口臭が少なくなることで満足している。

8 禁煙指導を行うことの問題点、困難な点はどれですか (回答は2つ)

①禁煙指導を希望する患者がない	22 (44.0%)
②保険診療報酬に設定がない	17 (34.0%)
③禁煙指導を行う時間がない	10 (20.0%)
④禁煙指導専門医 (医科) との連携が困難	11 (22.0%)
⑤指導のノウハウや知識が不足	15 (30.0%)
⑥禁煙支援指導歯科衛生士がない	5 (10.0%)
⑦その他	8 (16.0%)

⑦の場合、具体的な内容

- ・補助剤をOTC化することが必要と思う。
- ・ほとんど行っていないのでわからない。
- ・現時点では特になし。スタッフと一緒に、自院で工夫して患者に対応。
- ・禁煙指導を行うことを知らない人が多い。本当の害を認識していない人が多い。
- ・歯科診療の合間に、禁煙指導を歯科医師、歯科衛生士がしているが、片手間でしかない。

- ・説明しても患者に動機付けが足りないのか、前に進まない。
- ・歯周疾患の原因として禁煙指導をすると、混合診療となる矛盾点。
- ・さほど困難はない。

9 禁煙支援指導歯科医に対する県歯科医師会の支援として何が必要ですか（複数回答可）

①研修会の開催	29 (58.0%)
②禁煙支援指導に関する資料・媒体等の作成、配布	31 (62.0%)
③その他	9 (18.0%)

①の場合、具体的な研修の内容

- ・実際の指導ケースの紹介。
- ・今回のかかりつけ歯科医研修会のように、歯科医師として禁煙支援に取り組んでいる事例を参考にしたい。
- ・研修会は時間をとられるので、資料を送付していただく方がよい。
- ・一般的な研修でよい。以前、研修を受けた内容を忘れる。
- ・未だ患者からの相談が少ないので、具体的にどのように指導したらよいのかわからない。
- ・モチベーションを下げない方法。
- ・具体的な進め方、グッズ、ポイント等。
- ・指導の進め方。
- ・歯科における禁煙支援指導について。
- ・喫煙による口腔内の害、歯科医院での症例報告。
- ・医科の禁煙指導の実態を知りたい。
- ・患者自身が禁煙したくなる画期的な動機付けになるもの。
- ・禁煙指導の具体例をビデオなどで見たい。
- ・歯科医院で可能な禁煙指導へのアプローチ。
- ・指導例。
- ・指導のノウハウを具体的に。
- ・研修会を頻繁に開催する。
- ・指導のノウハウ。
- ・実例を使った研修。

②の場合、具体的な資料等の内容

- ・資料については、関連機関の資料もあり、あまり必要とは感じない。
- ・パッと見てわかる写真、グラフなど。
- ・わかりやすい指導方法の資料がほしい。
- ・もっと簡単で患者がすぐに捨てないくらいの資料。
- ・パンフレットなど小冊子。
- ・以前配布されたリーフレットを使っていますが、残り少なくなっているので配布していただければ幸いである。
- ・喫煙による口腔内の害、歯科医院での症例報告等に使用できる資料。
- ・禁煙前後の口腔内画像等がほしい。
- ・歯科に限ったもの。
- ・子どもにもわかりやすい禁煙についてのリーフレットを作成してほしい。

- ・ 支援指導のマニュアルとそれぞれの資料媒体。
- ・ パンフレットを手渡せるだけでも効果はある。
- ・ A3 版くらいの大きさの指導用パネル。
- ・ ポスター、リーフレット（現在のものはあまりきれいでないような気がする）。
- ・ パンフレットを待合室に置いているが、他の資料はなくなるが、禁煙に関するものはほとんどなくなる。
- ・ パンフレット等。
- ・ 初めから終わりまで、一目でわかるチャートがあれば便利。
- ・ 喫煙者と禁煙者と非喫煙者との色々（歯肉など）比較したものがあればよいのでは。

### ③の場合、具体的な内容

- ・ 県民に対して、禁煙支援指導歯科医の PR が必要か？ それに対して、資質の向上が求められる。
- ・ タバコは歯や歯茎に悪いという CM をやって、認知度を高めてほしい。
- ・ 禁煙についてのリーフレットが不足しがちなので、時々配布していただきたい。
- ・ 当院のチェアサイドに置いてある「喫煙と歯肉」の本は、皆さんよく手にとって読まれている。
- ・ 疑問、質問が生じたときの窓口を作ってほしい。
- ・ 医科との連携。産婦人科、内科等、歯科ばかりの広告では難しい。
- ・ 児童に対しての喫煙防止教育を手配してほしい。次世代におけるタバコ撲滅が近道のような気がする。
- ・ 禁煙支援指導歯科医の存在の広報活動。
- ・ 禁煙できない原因、障害となっているものは何なのかをカウンセリングなどで聞き出すことが、まずは必要なのではないか。

## 10 「禁煙支援指導歯科医」を経験してみて、どのようにお考えですか

### (1) 今後も積極的に喫煙対策を推進したい

①強く思う	14 (28.0%)
②そう思う	29 (58.0%)
③あまり思わない	6 (12.0%)
④思わない	0 (0.0%)
⑤無回答	1 (2.0%)

### (2) 「禁煙支援指導歯科医」をもっと増やすべきである

①強く思う	12 (24.0%)
②そう思う	27 (54.0%)
③あまり思わない	8 (16.0%)
④思わない	1 (2.0%)
⑤無回答	2 (4.0%)

(3) 診療の中で禁煙支援指導を行うことは、無報酬（保険適用外）の現状でもメリットがある

①強く思う	6 (12.0%)
②思う	25 (50.0%)
③あまり思わない	14 (28.0%)
④思わない	5 (10.0%)

(4) その他、禁煙支援指導歯科医、あるいは歯科診療所における禁煙支援指導についてご意見等がございましたらお書きください。

- ・喫煙している歯科医を禁煙へ導くように何かできないか？
- ・広島県の歯科医の喫煙率はどの程度なのか？ 機会があれば月報に載せていただきたい。
- ・研修会を年に何回か開催してもらい、未だ禁煙していない歯科医に啓発し、問題意識、自覚を持ってもらいたい。
- ・妊娠検診や1歳6か月児健診の時などにいっしょに禁煙指導し、母親や家族に子どもを守るためにも必要であることを啓発することから始めることも必要だろう。親は誰よりも我が子がかわいく、大切にしたいはず。それを禁煙のきっかけに。
- ・患者さんのためを思うと禁煙の指導をしていきたいが、けむたがれて来院患者が減るリスクとで悩んでいる。
- ・たばこ1箱1,000円にしたらどうだろうか。最初に研修会に出席した際、そんなお話があったようだが。
- ・歯周疾患と喫煙、栄養の関係を広報活動、例えば、マスメディア等を通して広めてもらいたい。
- ・10(3)について、誰にとってのどんなメリットを指すのかわかりませんが、報酬のことはあまり気にしていない。個人的に、禁煙支援の必要性と意義、そして、良さを痛感している。
- ・歯科医が禁煙指導を行っていることを誰も知らない。行政側から歯科医は禁煙について何か行っているのかと聞かれたこともある。もっとPRが必要では。
- ・口腔は、患者さんにタバコによる影響を直接見せることができる。歯科医師が禁煙指導を行う最適の職種だろう。禁煙指導の実績を積み重ねよう。
- ・医科との共通認識がなければ、歯科外来での普及は難しいと思う。
- ・歯科にはやはり私は限界を感じている。禁煙者の方々はストレス社会に生きており、医科の分野で禁煙外来を増やすべきだろう。歯科はその窓口として紹介する患者を増やすことが役目だと考える。
- ・歯科の立場としては急がず、休まず、コツコツと無理のないように行っていくべきだと考える。

## V 禁煙支援モデル事業追跡調査結果

平成15年度禁煙支援モデル事業の記録表提出者62名のうち、40名から回答を得た(回収率:64.5%)。

### Q1. 禁煙はできましたか？(複数回答あり)

現在も禁煙中	9 (22.5%)
一時的にできた	11 (27.5%)
減煙できた	15 (37.5%)
できなかった	9 (22.5%)

### Q2. 禁煙・減煙に役立ったものは何ですか？(複数回答あり)

ニコチンガム	7 (17.5%)
ニコチンパッチ	18 (45.0%)
リーフレットなどの情報	10 (25.0%)
その他	6 (15.0%)

その他の内容

- ・ニコチン含有量が多いものからではなくても、使用できた方が良かった。
- ・人(先生)からの励まし。
- ・周りの環境、口腔内写真、先生の熱意。
- ・禁煙支援してもらうことそのものが良かった。
- ・自分の強い意志。
- ・禁煙する自覚あるのみ。

### Q3. 歯科医院における禁煙支援をどう思われますか？(箇条書きでお願いします。)

- ・とても良いと思う。出来れば他の病院へ行かなくても、処方とかしていただけたら良かった。他の病院で新しいことを聞くわけでもないのに、処方のための診療代や相談料が高くて、予想外の金額になった。
- ・重要なことと思います。今後も引き続きやっていただきたいと思います。
- ・現在タバコを吸っていますが、是非止めたいので、ご指導のほど宜しくお願い致します。
- ・いいきっかけになった。
- ・歯科医院で言われるとは思わなかった。
- ・一時的に禁煙出来た方の意見：そういう機会がない(多分、そんなに日常的に医科へ行くわけでもない)、という意味)ので、すごくいいと思う。
- ・これまで以上に推進して欲しい。
- ・いい知識をつけていただいた。
- ・いろいろなことを教えてもらって良かった(喫煙と歯周病の関係など)。
- ・良いきっかけになった。
- ・良いと思う。
- ・禁煙支援には賛成します。
- ・やめて良かったと思います。ありがとうございました。
- ・禁煙支援は良いことだと思います。
- ・必要なことでありがたいと思う。



- ・ 良い感じですよ。
- ・ 説明を受けるのに違和感がない（口の中のことだから）。
- ・ 本当に禁煙をしたいという人の禁煙支援はいいと思う。
- ・ いつも親切にさせていただき、親身になって考えてくれてありがとうございます。4 か月の間、禁煙出来たのですが…
- ・ いいことだと思えます。
- ・ 良い。
- ・ 大変ありがたく思いました。
- ・ 気管が楽になりました。
- ・ 禁煙へのきっかけつくりになった。
- ・ とても良いことだと思えますが、もっと体や歯に悪いということを説明してほしかった。
- ・ わざわざ内科に行かなくても、手軽に歯科医院で禁煙指導を受けることができて良かった。おかげで禁煙できた。
- ・ 内科だとなんか聞き流してしまうけれど、歯科医院なら気軽に聞けた。会社の健康診断で数値の高い項目があったが、禁煙してから数値が下がった。しかし、それに安心したのか、つい吸ってしまいました。また、挑戦したいと思えます。
- ・ 一時、ガムで減煙できたが、面倒になり、もどに戻ってしまった。
- ・ あらゆる場、医院等での PR は効果的だと思う。

## VI 今後に向けて

本研究により、歯科からの禁煙支援をより一層推進していく上で、次のことが必要であると考えられた。

- 禁煙支援指導歯科医に対するアンケート調査結果から、歯科診療所において禁煙支援指導を行う際、多くの問題点や課題があることが明らかとなった。歯科診療所での禁煙支援指導を推進するために、歯科における禁煙支援指導の意義や長所を踏まえ、禁煙支援指導歯科医をさらに養成したり、啓発資料を作成することなどが必要であろう。また、平成 18 年 4 月から、医科では禁煙指導が保険適用となったことから、歯科領域での保険適用の働きかけも必要と考えられる。
- 平成 15 年度のモデル事業の対象者に対する追跡調査の結果、4 分の 1 の者は禁煙を継続していた。モデル事業は、禁煙に取り組む上で効果的であったとの声が多かったことから、歯科診療所での禁煙支援指導を推進すべきと考える。今後も、モデル事業の対象者に対する追跡調査を行い、歯科における禁煙支援指導の体制整備の一助としていきたい。